水到つて渠成る

功を急げば淵に墜ちん

長猿族などに比較して。 といふことになる。ゴララ郷

『セドこた彫形では関係者多く てゐる、民政繁地方支部では「職の戦を悪れた職者につき」

時局收拾を決

意す

- る岩観全観の通牒は自下政府で

乾精末氏が有力

我全権の通譯

阁氏等討馮司人

(論の反對熾 昨夜濱口首相

《撤囘を決意し閣僚全部の歸京を待ち廿二日の閣議に諮る《論の趨向に鑑み一時的不評を忍ぶとも將來の禍根を斷つ【東京廿日發電】濱口首相は十九日夜の井上藏相との密議

【東京十二日發電】井上顧相は十九日午後七時三十分獲口首相と約二時間會談九時三十 撤回については考へてゐない

らぬと異なり豫算を増加すれば良いのであるが之をなすや否やは最後の豫算決定の時であるが、今日過り各省とも大した紛糾もない縁に思ふ滅俸反對の狀態については老へて居ない、從つて臘回すると言ふ事にであるが、今日過り各省とも大した紛糾もない縁に思ふ滅俸反對の狀態については恋なら日は自分から電話をかけて首相を訪問した譯である、滅俸問題は大體新聞にある通 撤囘するも政治責任無し

時突症支那官院は巡野十数名を軽

赤系露人を壓迫

「ハルビン特電十九日後」メリバ あ自動車数率で軽減面の同行に到 り無常を開催し候簿を放査した上 支那端は金融素製の名の下に同行 回教せるテッケを押收飛過げたが 安那端は金融素製の名の下に同行 回教せるテッケを押收飛過げたが 安那端は金融素製の名の下に同行 回教せるテッケを押收飛過げたが と続けよと続合し十九日午前十一 臓じた に設けよと続合し十九日午前十一 臓じた

支那側が實力を以て

あるが其機能は政府の敗なる方針であり来だ線合政正郷を決定し上奏傳播観等の公司等が政府の配目を失はずして撤回する方法につき考慮するものが出て來なが二日の資際に近處を有するものも最近試釈の撤回を膨密するものが出て來るが二日の政府に近處を有するものも最近試釈の撤回を膨密するものが出て來る廿二日の政府に近處を有するものも最近試釈の撤回を膨密するに決するや各方面の反默騰烈となるが其他の

其後の事情によつて政府が必要と既定方針を變更しても恐

蔣氏に下野勸告 第二次通電を發して

帳簿を押收

無いないとというでは、 一般には、 を関するが、 であると、 を関する者を要求しないでは、 を関する者を要求しないでは、 を関する者を要求しないでは、 を関する者を要求しないでは、 を関する者を要求しないでは、 を関する者を要求しないでは、 を表する者をであるが、中には、 を表する者をであると、 を見て元も子も優勝。 であると、 を見て元も子も優勝。 であると、 を見て元も子も優勝。 であると、 を見て元も子も優勝。 であると、 を見て元も子も優勝。 であると、 を見て元も子も優勝。 である。

限の五分利は庫債第ス號三千七百日候電別の五分利は庫債第ス號三千七百 國庫債券發行【東京

ため、五分利國庫債労継節四千九十九萬八千九百二十五圓僧替





趣備行為は川 伊太利首相ムツソリーニ氏、黒シヤツ育相、異名フリ 且ツ然リ! 宰相ニシテ尚 - 贅澤品ョリ實用品 デ足ル

フェルト 特許彰(七六九四號

▲島辰進治氏、本社上海特派員) 十日入港のばいかる丸にて家族 十日入港のばいかる丸にて家族 思田誠氏(爾際源輸系務)。二十 原同伴同上聯連 原同伴同上聯連 上西勝氏(山邑酒造株式會紅取 一日(西の鹿) 晴れ一日(西の鹿) 晴れ一 は当日の 黒いい 赤い、野 養い周 御風白粉

ム製・敷

藤山日糖社長の談

闘東廳でも愈よ 輸出補償を實施

越資孝氏〈同京級出張所長〉 兵(同朝鮮支店理事) 潘安語

生徒「いゝえ先生、僕は緊ਆ方針」であるたに云に書きこむんです。あんたに云でするまだわかりませんか」

かは一般の成別に

豫算廿三萬圓を計上

職権制度を實施すべく既に五年度

会知議會は政府も監脱を を対してかくりは配製職時代の折

萎縮し過ぎぬか

八は餘り

不景氣の聲に脅やかされ

1氏以下の変質が若し今回の命令。 は関連に軽額したボグレッキ がシタ整理に軽額したボグレッキ が変する方針で、ダリ が変する方針で、ダリ が変する方針で、ダリ が変する方針で、ダリ 在滿邦人

支那側が報復的に

任者と交替するほめ天や任地に向が一行は膨脚、撫服に 骸在する前が一行は膨脚、撫服に骸在する前 英米宣教師來滿

奉天の三ヶ所に於て行ふことゞなるゝ筈であっが本年は本棚及大連 機定試験は來月中間領より施行で開東艦の第八回専門學校入學資格 大連市三河町十八 男岩保 室察室 診診

配達は敏速に仕り居り候配達は敏速に仕り居り候 內科專門

令に就任を拒絕

不哲元氏等再び

一、配言は一割の見込み 一、配言は一割の見込み 一、風役の異断は當分行はず その他情入金、不良財滅の處置等

日銀田経営方針『東京十九日景間』日登町1日登町の郷野方針に北京中度の郷野方針に北京

として乾燥地氏があげられて唇る経動中であるが最も有力な候補者

会を初め銀行其他の地間行為は川 東海る限り型無に終って明年十月 東海で、しと重要込んである。 而 して右運用に関する動会域の内容 して右運用に関する動会域の内容 に 放って明年十月 となる模様である 頻に掠奪の西部沿線支兵

安富醫院

何酒の御用は品質本位の 近藤鉛酒店へ

杯の晩酌百葉に勝る

一着上

(內地)四清演田常盛

一番ストルッ(五一

も競技前既

新たにして日本最高レコードを作る等観察は益人は熟化して来た【倉賃は人見獲】し満洲の南部選手は走巾跳で京城で作った自己の日本新記錄を更に可成り眺口してゐるが何れも冠氣眩離で人見絹枝嬢先づ六十米で世界新記錄を出 った自己の日本新記錄を更に 前十時頃先づ日本

三煮採柱雲、四着井上 一雅人見絹

大出場『賞賞はモレス選手』 マの記録は三回目、住吉の記録は三回目、住吉の記録は三回目、住吉の記録は

糞尿の處分に 市が大悩み 環般的の船着場を失ふので

け鹿りは沙河口の肥露に龍、汽車子地方の農家肥料用に大部を裏向 加根みに、して金州、駒水 あるが最近に至りこの微泉的末の別現在では西側町東寺児藤の附海 蔵の吐き口があるので目下の嵐比り現在では西側町東寺児藤の附海 蔵の吐き口があるので目下の嵐比別から たっぱいちょう かんしょう かんしょう かんしょう かん して金州、駒水 あるが最近に至りこの微泉的末の 大連市民が挑出する一ケ年間の気 で旅艇に運び或は出側すの乾養食 闕東廳ご對策を講究



同家指へ配解者は関島縣野田郡沼田 でた、加密者は関島縣野田郡沼田 でた、加密者は関島縣野田郡沼田 が東村目下大連入港中の第三数地丸 かい 加密者は関島縣野田郡沼田 である かっかった。 は脱れて居たが喉が三角のかり刺染を地丸は大連に入港したので三浦は十九日を避く破職へ女の許を訪ねたところ女は既に先客があり三浦はたところ女は既に先客があり三浦はたところ女は既に先客があり三浦は

け渡け様に減多斬りにし其場に取 られぬ運搬な状気を呈して居たが発送し廊下から清を呼び付け出 からは古地歌部神が出張被死して発送し廊下から清を呼び付け出 からは古地歌部神が出張被死して勝敗に出で出双を買ひ求めて再 を実立て二十分後死亡した歌脚ので終拓を越し二十日午前入時頃 死せしめ湿い自分の左頸部にはので終拓を越し二十日午前入時頃 死せしめ湿い 盛大な落成祝ひ

大典配剣武道楊落成につき二十日大連商業壓校では飛て新穀中の傷 けふ大商の道場開き **で開場式を撃行**

育成快勝

七二割上

差上ます

#

より

to

t

技グラフ

ける右から 獨通変 那日本

草野真(『と)は詐欺権領別人として原籍大阪府三島郡吹田町一三二三 横領犯人押送 公衆便所存置

を表している。 の公案便所は大連市役所及大連監 のでは、 ので 一年にて朝代的は、十分速成は六ヶ月、



八津を見學

大連神政場内の大社教補別分院は 大連神政場内の大社教補別分院は たので今回の大部標を機能に市役 たので今回の大部標を機能に市役 たので今回の大部標を機能に市役 たので今回の大部標を機能に市役 たので今回の大部標を機能に市役

分院移轉

が神で御旅行の事は 大 連 案 内 所 通知中上候 時半死去仕候間御 一一一十日午前七 一一一十日午前七 一一一十日午前七 一一一十日午前七 一一十日午前七 一十日午前七

西川の鵜と布選 宣傳の経来る二 十日より十一月 十日迄帰と質縮 「御買上の方に無

中央獨學協會

のかりつきー

陳列振りを 御攬下さ 德 五〇七四話電目丁二町速浪連

時計及貴金屬

最

終の

前囘より

他一切

大

賣出

一層安値に

初回の賣出し丈けでは整理付き



冬來るり先が防寒の御用意は… 強嵩 山

近物線の敷配で後者は交埋立工事 | 目下郵類を開売中である付場が近く前者は埋立工事及補償 るであらうといふので別東郷で関係にある約五十項宛の散尿船の船 の演繹に伴ひ勝來開着共に失は

うづらの

姿を見せず値か料理店の一

お名殘

南部兩選手新記録を出す

が、それは前記四種町寺見院帆海 大狼狼し、最近関東鹿に向

八側と云ぶ粉しい安備を示してゐるがこれが本年の織りであ十九日朝來の北風で午後から一寸市場に現はれた信め一刻七

日系露人の

救濟を計畫

米國財團
こ慈善團が

日

の安値 きのふ旅順

旅順の支那街遊廓で

から無理心中

飛電人の母狀調査方をニューヨータ、インフオーメーションピウ支那各地に脱在する的深電人のために大規模な製造計量を掛て白皮那合地に脱在する的深電人のために大規模な製造計量を掛て白皮

連鎖商店

のため

H

まで

ロウを経て各関係筋に依頼して來た

力を振ひ

◇糖下は一個より◇

7

商會特選

酌婦を出及庖丁で滅多斬り

相手の船員も紹命

ででた響数

去つた妻の未練から

山口縣下柳井町の惨劇

へを殺傷

秋の族職今日此頃の朝夕は めつきり底俗を聞え、名物 めつきり底俗を聞え、名物

出版大連へ向ふ途中同日午後十一 上日午後六時常船のまへ博多港を 九日午後六時常船のまへ博多港を 九日午後六時常船のまへ博多港を 汽船漂流

時二十三分對馬神燈

友仙华市一尺 四國三十錢より 日ヨリ

刑新物多 十二銭より 大中一尺十一銭約一大フトール更紗 満壽屋モスリ

時場散動した 玄海灘で

一三十三度東方十八選の地級でテールと丸の今朝四時代派が都地変店に來たので設助船が減してもいれは今朝五時現場へ登試してもいた丸の今朝四時代派派地版は北峰の今朝四時代派派地版は北峰の今朝四時代派派地版は北峰の今朝四時代派派地版は北峰の今朝四時代派派地版は北峰の一三十三度五十二分五十、東郷北地版は北峰の一三十三度五十二分五十、東郷北地版は北峰の一三十三度五十二度の地域であり、 度廿五分で南風が吹

のレコード競技者

下競技會を開いたが新肥銀板出し時十分から同校の運動場でレコー

次の人々が本年のレコードホルが

411003

ル)単位メ

ICILII、O) ・大)立男河

金一〇四、四)一女祭

ムランニンがく一〇〇米ン

井上舞子(一宝、宝)宝司

子供等の遊戲に於て一本の品願は

A木製のもの。

ブルのお母さんと赤ちやん

對する注意

ブランコ枠に

大廣場小學校の

コード競技會

△投珠(スポンデボー

単位メー

盛んに新記録が出る

めると云ふ燃から、好まれるので ことそれ自身が後等を愉快ならしると云ふ歌から贈りでなく。優る 事が、彼等の森林生活に必要であ

ばれる。

のプランコである。椅子プランコ

ハンモックは見方によれば一種

は三歳から六歳頃の幼兒に最も書

ス氏は狼の習性に見て振ると云ふは「ブランコの愉快は晋人が膨上は「ブランコの愉快は晋人が膨上

が見用見重用の、頭は木製頭は金 橋子ブランコもあるし、乳が見用の

レー研究の機械者ジョセフリ

は一寸わからないのであるが、ア

立つて指ことの愉快を眺めた。

ブランコにも色人の種類がある

優に正規のプランコと同様見重の

之れは終見遊戲の中心をなす器

のです。事實後等は本常に幸職さ ないもの、ほんたうに配合いな 「此機はい」ねえ、すこしも恐く でした。此處は彼等にとっては

よりの樂職と云はねばなりませ

原や山に輝く様な窓無統の音もしじやまをする者がないのです。野 ませうよ

は かなの離には何とも云へない喜び が の色があふれてるます。 焼に此の 横子を見てるた私も思はず心に 縮ってやるのでした「とうぞ何時ま 現ひ乍ら飛んで行く概念、その皆 さう云つて手をつないで高らかに つさらですよ、さあ思ひ切り唄ひ

兄童遊園

そのプラン

+

國東鄉體育研究所主事

山本壽喜太

の概がすんであました。毎日々々 は私達の樂師ですねえ」

はりあげてなきたかつたが又がま んして小さいこゑです」りないたし いった。ながしてかへる時に系を

8 りした。私たちがかへつてきた時きたら、このしまつなのでびつく おふろにいつてるたのでかへつて

が、つめたくなつてよこたはつてはもうことぎれてゐた。 その日のばんロシャ町にながしに りなきたかつたが、がまんをした した。私はほこをだいておもひき うすはほんとうにあはれで らつしゃつたっほんとうにほこは あはれなうんめいの犬であつた。 それがあつてからだいすきなろし おじさんもお母さんもうんめいだ

や町はとばのうたをうたはなくな **レみがほんたうにお上手に描が**

B金原性のものや、知で 表外的なものであるから、如で 表外的なものであるから、如で 表別の雄勢は金屬製のパイプ式 を用ひてある様である。 を用ひてある様である。 ムプランコの網及鎖の が、大乗は丸木を可とじ、上面 が、大乗は丸木を可とじ、上面 が、大乗は丸木を可とじ、上面

関突の際の危険を除くためなる

ない コンクリートには少量の明 ない コンクリートには少量の明 町く戦く作ること。この ・ はに用ひられる。このは ・ 強に用ひられる。このは ・ でを発想して総 ・ でを発想して総 ・ である。このは ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる ると云ふ獣から現時は れぬの 職いから毎日時間外に 収外すこと。



小便近くなる、性感や精力も変へて事実も勝跌し、ろくなことがない観なことに腹が立たり、強いたりする、かういよ時は赤不眠症を起し 頭部に吊る、頭痛と頭頭に飾み、四季が時々する、かやうな れは耳鳴がし、層が凝り、便通少く、のぼせ易く、首筋から を基礎とせる高貴地だけあって、その治病作用は最多 へ、原事過度の人、心身疲勞の人、 北が続いても治療もせずにすて置くとや然と脳溢血 「煙家、糖尿病者、慢性腎臓病者、肥えた人、中、 、原事過度の人、心身疲勞の人、肉食美食の人、 、原事過度の人、心身疲勞の人、肉食美食の人。 題して観光することが多い、又は中風症となつて半身不随の存 名置を博して居る。本信思者は心配無用、海黄来を一覧も早く服 動脈硬化症及び之に件よ脳変血、中風の漢防及治療薬として噴々 のも実施いかに着るしくとも決して忌むべき部作用なく、質に細 たら一時も取く治療と登跡を輸じ大事に致らぬ内に身を保護しな 原準機関来は、殊石に佛服名書ソバショー博士の設見せる主成分に います。 像ゆるも亦及はざる結果となる。現今病者の問題となれる特殊 言葉も整流する、亦能惟力思考力も散られて感情発養し、さ を元集の復活を開らん **地統の人に多く、かりそめにも前記症状の一つでも**

して老眼となる、そ一番危険なのは驅動脈の硬化である、こ

特許ラヂウム温灸治療器(姓・歌)

(紫藤江)

ツースの名前はさておいて トリスの味の味のみは誰と マイウマイとおえやる

店理代

財界の動脈硬化

諸臓器の萎縮退化 腦動脈の硬變

四

あるピルデングの配上しん。

樂園の破壊者

(F)

既に大へんなことが思ったのです

兒童の作品

ところが取る日、この幸酸な祭

来る機に」と

シタガ コンドハ オヒメサ

ノガレルコトガ デキマ

大テヤンハ イロく

センスイテイガーウゴクヤウ

ナルマデ

大チ

ヤ

ノタンケン

(123)

ル

2

+

9

3

ゥ

話

の船。その遊か彼方に悪寒をついれます。異なごやかに夜一つ無い

あたりの景色は一型におさめら

更しい一幅の繪の様です

まえる紫色の山、 それはまるで

り、交換友達とふざけるものもあ

名である。

ぼこといふ名は私がつけてやつた ほこはうちの犬であった。

駐上の通りを愉快に飛遞つて膨れ 連れ立つて遊びに行くのでした。

棚の食事が終ると皆んな斯うして

哀れな「ぼこ」

遠井光子

に自由な生活をして居る十穀羽

から全く恐れと云ふものを知ら 此のながめのよい屋上には、古

来ないのでせらかし

「ねえ如何して此處には悪い人が

それはぼこが人力車にひかれたの

ある夜ばこの一大事がおとつた。

だった。ちょうど私はお母さんと

私はかみさまに役こがこんどうま

にひろはれないやうにいのつた。

うにそしてぼこのしがいをにいや

「さらねえ、よぞに居るとすこし

とりも直さずに海祖織の動脈硬化でなくて何であらう、しか 性慾、精力の衰退

今日の不景氣を招來してゐる。この既就なる不默定は放 漫 に流れた 財界は濫費放逸の結果として が寒たり、しびれたりする、赤殿の水晶體が硬化手足が冷え、頭部に充血し、時として手足に水鷹 し、五臓六腑が弱り、歩行疲勞、どうき、息切れ して状態の動は悪化は結果として破産演出、不景氣に止る 人権の動脈硬化は聞くも恐しき脳溢血、中風の原

世昌 世四日 特別奉仕品 ・掘出物の出場場の 其他見切品•投げ物澤山 世音 ●毎日午前八時年期店 廿六日 甘昌

Ш

は他はは



製図の外途なきを悟り、二十二日定例閣職に全閣員の発集を求めて正式に撤回を職する管である事職が移滅信咎省の猛烈な反跡を誘致せる外、異論の反射與繁飾の撤回緊塞等に鑑み服り首相は撤棄京二十月發電』去る十五日の定例閣職で政府が賦行に決定した官吏減権実は司法部内を首め銀道

● 急遽歸京を促す
旅行先の三相に

アツサリ撤回せよ 日設電」政府は十二日院時で被解を撤回に決したる上、海口首相の名を以て

撤囘理由を首相より聲明

別に大方針遂行に努めるがよい 減俸案撤囘なぞは小さな問題だ

激戦十

討蔣軍鄭州に

唐軍復州方面へ敗走

高松宮殿下

御全快のお喜び

川喜久子姬參殿

の母望みえ子来亡人と共に十九日高輪舞戲に殿下を御訪ってあるが、熊川喜久子魁は殿下の御全快衛よろこびのを御遮院遊ばされ高輪御殿に於て興後の御殿蟹を遊ばさを御遮院遊ばされ高輪御殿に於て興後の御殿蟹を遊ばさ

滅俸案撤囘は

考慮の餘地あり

首相が閣議に諮れば

◇……井上藏相語る

支那革命の正流

ので政府の政策に対の

可法官が中心となり

影響を恐れる、鬼も角も興命 勝いて善魔したい を振つた

労農は東北政権と

単獨交渉を希望

反蔣運動の擡頭を好機さして

支那側も讓步的態度

奉軍飛機出動

『事天特電十九日を』 軍第二、第三歳所屬飛行機十悪を 北浦警備のため今国蘇州里方面に 北海警備のため今国蘇州里方面に

反馮市民大會

町田農相首相訪問

首相を訪問 仙石總裁。

- 餘時間の後 「ハルビン特電十九日建」南京政 政権と降源交渉の意を縮らし又支 解決する意識である、カラヘン氏 長の任命問題は顕歩する態度を示 解決する意識である、カラヘン氏 長の任命問題は顕歩する態度を示 が動きを見て、東北 して来た

路支兩國の捕虜 交換斡旋を依賴

ドイツが米赤十字に 包裝展賑ふ

山東の形勢

活動寫眞を映寫して指導

神經痛リウ

飛行場事務會議

からも 脚水子 兼存場 航空官

津田堂長歸任

昨日から青年會で

銃砲彈を急造 天兵工廠で

蔣氏の對馮系作戰

刻《惡化

戦局は馮軍に

有利となる

にあた人心臓器し、中央取は開封 にあた人心臓器し、中央取は開封 にあた人心臓器し、中央取は開封 里の観察を了へ舞哈した。一行は 代表陞夢館氏一行は十八日朝藤州 代表世夢館氏一行は十八日朝藤州

居生智の震返りて

東京のである、戦し彼は所謂新 東京の大道が大道的に有つ苦修一成革命 が披藤―なしに其統一勢力の撮景 の世級の最張―を合理化し得るの が出版が大道的に有つ苦修一成革命

175UJ1

高等馬術に觀衆熱狂 全満馬術大會の午後 のサラな話▲一部技術と頭から天 更にも変を持塚に及んだとは、嘘 更にも変を持塚に及んだとは、嘘

満鐵馬術部が 拔群て優勝

支那人職工に跳し、



明示せず

南方代表に對し



保健と節 最新式 武器裝置式

格を高めます 本器御携帶は貴下の人

而もオゾン吸入による彼内白血球(他内へ でも本器を御利用になれば樂に禁煙が出来 有害無益な煙草を止められぬ意思の弱い無

詳頼カタログ選星 解染剤の鎌防さなり身體益々強私さなる

□東京二十日 強電』太田 桐東長官 は明年度飛算及び減俸問題につき 二十日午前八韓二十五分東京降清 二十日午前八韓二十五分東京降清

昨朝入京す

二大阪府中河内郡牧側上役行者開送。其音宗出版でなた様に限ちず遠慮なく御申込下さいヨクワカル様人助けの為無料

國民は諒とせよ

安達內相關門で語る

総の団然一るに決し、首相より旅行中の

歌歌は一位の途につく

プを授與

慢勝各選手に



三國競技を終りて

一の好成績を

一者こして感謝

安員長劉風竹氏語る



選手の

二つの世界記録を作つた人見選手 目重を望む **人見選手語る**

股級場 4878 6807 本店 4341 沙河口 9318

室灣訪問飛行

祭二十二日本祭で秋季大祭を執行宮地嶽波會本院にては二十一日将宮地嶽波大祭・聖藝街三丁目の宮地嶽波大祭・聖藝街三丁目の

大連千代田廣場に於て鬼脈のため、大連千代田廣場に於て鬼脈のため、北に負傷した野田巡査の事態を得たので分配方法に付養地へ合高山大連緊察を見の御立會の下に協議の結果大の如く際呈することになり高山大連緊察を見るの脚を含めている。 見策科學講座 電燈の話 吉

来連したが最近の酒醸界に就いて 昭和四年十月廿一日(月曜日) 自午歳(特産、銭砂、株式、各地 相場(特産、銭砂、株式、各地 相場) ラダス

カカ東の変化の変化の変化の変化を変化した。

大阪本店は 大阪市東區備後町三丁目二九大連出張所は 大連市山縣通一四七番地へ大連出張所は 大連市山縣通一四七番地へ 々移轉仕候間此段併せ御承引願上候

中慰見舞金

分配傳達

高山署長より

選品南(右下)ルドーハーロ(上)

書 澤 酒渍 8 着荷新 界各國酒 各 東京風菓子謹製 地名 页子 菓 株園の産権観の名物 サングオフキング ウィースキ 産 食 酒 湖 00 Щ 3 TS

良田野

日下

 盤富士洋紙店 出張所 東

四時事太刀洗漉は廿一日午前六時中十五分三種は離行して第一コース太刀洗に向け継影を洗した午便を表した午便

刑事と巡捕

カフ

エー道頓堀

H

中

出

現

南滿洲電氣株式會社

重傷を負ふ

中工子、サカエ、キョ子、ケイ子、トキ子引立を願ひます

犯人押送の途中に

サイドカーが頭覆して

部駅一部長等と樹乳し野口飛行場の機能が 同業、四十號機は花澤大砂機線。 中村中尉同乗し殿普高くスタート をされば藤山中砂機線の準備線へ 中村中尉同乗し殿普高くスタート

二機到着

語る

海 東 塚 幽

和洋各特 類 組合 院 館

中願出許特

(金)を (液大丸

一罐约三合人

蒙御用命

各學校

不景氣な

電」今朝六時五分よりパムパ、ユ 者数名を出した倒覆系屋多数に上 者数名を出した倒覆系屋多数に上 り疾に硝酸加里ヒンウ工場の被害。

南米の大地震

御飯櫃類、眞鐘及銅白色金物アルミニューム類の上がガラス、リノリーム類の金銀器具ナイフ、フオーク類

定記日轄により各地へ出張三十日 表演教師山田行正六郎を招聘する を追教師山田行正六郎を招聘する こと」なり、今二十一日大連出銀 こと」なり、今二十一日大連出銀 婦人護身術講習會

大連市山縣通り貳百番地

取敢徇披露旁々右得貴意度如斯御座侯 敬具努力可仕候間何卒將來共不相變御引立の程偏に希上侯 先は不好力可仕候間何卒將來共不相變御引立の程偏に希上侯 先は不住候間此段宜敷御諒承願上候 隨て一層奮勵貴意に副ひ得る樣營致居候營業債權債務並に附帶事業は擧げて 第 に於て繼承可式會社山田洋紙店の業務一切を讓受け候に付ては從來同店が經濟會社山田洋紙店の業務一切を讓受け候に付ては從來同店が經濟學社会報告。 大連市山縣通一四七番地大連市山縣通一四七番地

原禮等々右御挨拶申上度如斯御座侯 原禮等々右御挨拶申上度如斯御座侯 原禮等々右御挨拶申上度如斯御座侯 原禮等々右御挨拶申上度如斯御座侯 原禮等々右御挨拶申上度如斯御座侯 原禮等々右御挨拶申上度如斯御座侯 如具 原禮等々右御挨拶申上度如斯御座侯 の上不相變 所 同樣御芳情を蒙り度偏に奉希上侯 故に謹而復 の上不相變 所 同樣御芳情を蒙り度偏に奉希上侯 故に謹加と當店との 原禮等々右御挨拶申上度如斯御座侯 如具 0 高級 ルーシ級打いと(美 すまりあればがる。

産兒制限 北文房長店の1000円でありません。

士の御證明が御座いまする

何でも手輕に洗へます丸大液

たまぬ事を中央試験所佐藤博

有利新職

が軍副官が

は旅行駐問題につき調査のため十 円録の答、交額婦大連商議書記長 の領事館及び大連海踊の

城三格闘

安原の前週ヶ坂公園的配館物

水道電氣會社の

電燈記念視賀會

廿一日營口座で開催

附屬地内で脅迫

不逞鮮人が

た。彼は

秋季招魂祭

要って金五十五番を載ひ南方に向 を自多鉄を所控せる五名組の壁を 作自多鉄を所控せる五名組の壁を が購入し店主を脅迫して担金十五 を関すの実態質悟を 一ケ所に强盗

たの質ながら、どうなりともあん 文歌の最は、黒田の歌切に殿職す だが、心酷なまで頭なに見える はない。

さう形たく云ひ回ったきりであ あれはもうわしの観ではな

なんだ! おおさんに配を使かけなんで観はないだらう? 滅公!」
の「……やれ! くしれきはお客さん
んで観はないだらう? 滅公!」
んい刺く位料さんをあんたお載さ
んにしちまひなよ! はえばよる

日本商議總會に 放行單問題提案

○ 十九日安津線金行に ・ 特・十九日安津線金行に

曾議所議員會で決定

とが衝突し零タクの自動車は買ニー・運轉手王金銘の操縦せる自動車商會運轉手寺田・運轉手王金銘の操縦せる自動車を牽天タクシー・

財務課長瀬田氏は輸入組合打合の ため二十二日衆令鬼臓が脈に一治 に十三日入時四十分数の列車にて 北行因に當地の輸入組合は近く職 北行因に當地の輸入組合は近く職

狩獵中誤殺された父親の

件が加害者を撲殺

人の仇討

戦器で入場料を許可観度にするか
→ 十日午後一時より一般ので入場料を許可観度にするか

貸出開始

● 日間に後のは、ことののは、一直のは、一直のでは、一直のでは、一直のでは、一直のでは、一直のでは、一直のでは、一直のでは、一直のでは、一直のでは、一直のでは、一点のでは、一

最高額五百

ちの解ける日まで、それでは何本 こんでひそかに黒田に繋って手を いって誤解を求めた。母親はよろ

が……この上は健深地なあなたにへ配めるわけにもまのりますまい んな事情では、もう小森衛事の方 ので見りに涙を拭つた。 はなっていた。 黒田の住居は、四賊長屋の織で 大腿の膨胀といふ、都形ながら野 地の借家であつた。黒田はそこに を二人で住んであたのだった。 実知子が一緒に影すやうになる と、よろこんだのは滅公であった。 と、よろこんだのは滅公であった。 近に対。 當分な綴さんのお鑑はな がでかりします。 さり云ひ珠して

「……有り継えぞ!これからおれ が観を飲かねえでもいゝことにな つてやあがる!」

0

さ月回 楊漢 唯二氏

防火宣傳に

消防演習

車夫を射殺 馬を盗む

公主演

滿日勝

133 (大学) (15) (

至治

窓 (134)

短證 加冶屋委員送別會

「別は合同して廿一日午後五時半から州原地業職職に於て奉天に桑城
する知治康武盛氏器別費を儲すと

式新量 大大中小型超行工机器

全國自衛衛門に原質

撤囘するも政治責任無し

ない事であり者し其後の事情によつて政府が必要上断定方能を懇迎しても政府には何等政治賞法を負責も出るものと歌られるに至った。而して政府部内では滅郷方針は歌歌で正式決定愛妻した事項では身も出るものと歌られるに至った。而して政府部内では滅郷方針は歌歌で正式決定愛妻した事項では身も出るものと歌られるに至った。而して政府部内では滅郷方針は歌歌で正式決定愛妻した事項では最上が政府の両目を失はずして撤回する方法につき考慮するものが出て来るサニ日の歌歌には撤回意義も出するのと歌られるに至った。而して政府部内では滅郷方針は歌歌で正式決定愛妻した事項では異なが中野感を解行するに決するや各方面の反繁微烈となり實際、解所の『東京廿日愛電』政府が一般言吏の滅解を続行するに決するや各方面の反繁微烈となり實際、解所の「東京廿日愛電」政府が一般言吏の滅解を続行するに決するや各方面の反繁微烈となり實際、解析の

1 1

地方民の多數は

滅俸に共鳴

版に家める響・ をのと民政業等等は強信してある。 ものと民政業等等は強信してある。 のと民政業等等は強信してある。 のと民政業等等は強信してある。 のと民政業等等は強信してある。 のと民政業等等は強信してある。

はれて居る

反對氣勢

には留意

徹回については考へてゐない

井上藏相密議後語る

炒俸案撤 昨夜濱口首相、 に鑑み 仏 意か

日閣議に 上滅相と密議

案撤囘を決意し閣僚全部の歸京を待ち廿二日の閣議に踏るものと言輿論の趨向に鑑み一時的不評を忍ぶとも將來の禍根を斷つため減俸【東京廿日發電』濱口首相は十九日夜の井上藏相との密議に於いて 書記連し反對

展東京十九日發電 別総事の減解 関連を受けるを以て上司に反転電 動動を通告することしなつた

編遣準備

九日朝八時來哈、グランドホテル九日朝八時來哈、グランドホテルに入つたが陳氏の表面上の使命は既於解の東北取を顧問するため、日は南京政府といふも、事實は東北四省の軍隊といふも、事實は東北四省の軍隊といふも、事實は東北四省の軍隊といるも、事實は東北四省の軍隊といるもの表面上の使命はしては東韓の管理権を回收せれば 命令に服従するかは疑問であるが、反落運動の気勢機なる現狀でが、反落運動の気勢機なる現狀で 府軍政部大長陳儀氏一行四名は十九日教】南京政 陳儀氏の使命

たの如く職る を取り、自下の歳は會議で決定したものを變更する気はない、司法部内の問題は集紛令の であるが、今日連り各省とも大した紛糾もない様に思ふ滅棒反對の狀態については充分注意はして であるが、今日連り各省とも大した紛糾もない様に思ふ滅棒反對の狀態については充分注意はして 居るが之をどうするかと言ふ事については考へて居ない、後つて撤回すると言ふ事についてもあま とるが、今日連り各省とも大した紛糾もない様に思ふ滅棒反對の狀態については充分注意はして にあるが、今日連り各省とも大した紛糾もない様に思ふ滅棒反對の狀態については充分注意はして の如く職る

【東京廿二日發電】井上版相は十九日午後七時三十分減口官相と約二時間會談九時三十分聯表したが

英米へ留學生

一、滅体具體深は作成するが之と
別個に撤回論につき意見を聴収する
なる廿一日の政務官會調に於いて撤回論につき意見を聴収する

不景氣の聲に脅やかされ

滕山日糖社長の談

し過ぎぬか

ハは餘り

脚を中止すべしとの第二大通常 おいっとの大か像を飛騰せば取事 がに左の六か像を飛騰せば取事 がに左の六か像を飛騰せば取事

第二次通電を發して

蔣介石は直に下脚を離断すべ

一三、政府を政権せしむべ 品をし時局收

米哲元氏等再び 蔣氏に下野勸告

八意す 市に就任を拒絕

我全権の通譯

時局收拾を決

閣氏等討馮司人

日四編 山氏を姚遊覧北路線司命に | 氏を五路線指揮に、李殿勝 | 路線指揮に、李殿勝 | 路線指揮に大水低音したが、右四 | 日夏5] 中一般では一次年度の極端方地にむったの他能入金、不良院額の見込み | 一、事業計量は帰小せず | 一、重要の機能を発足する最高のた | 一、事業計量は帰小せず | 一、重なの他能入金、不良院額の登録等 | 日度5 イボ年度の極感方針に取り 日香施敷は十九日の重役 日本施敷は十九日の重役 権来氏があげられて居る

は大陸に於て内地法と野

『ハルビン特電二十日配』 東藤西 が離はり勝ちなので掠鳴する者多 が離はり勝ちなので掠鳴する者多 類に掠奪四部沿線支兵

限の五分利岡庫債券ス號ニエ日世間一政府は十二月一丁屋

昭和十七年一月近

帳簿を押收

支那側が實力を以て

十一月十三日

【ハルビン特電十九日改】メリバー 支那能は金融素質の名の下に同行 でで、対象を観点で、全国物態理につき の保管を負債を組織するとを測定

あ自動車数器で膨緩前の同行に到 り食器を閉鎖し帳簿を被査した上 り食器を閉鎖し帳簿を被査した上

時突如支那官衙は巡響十数名をに設けよと酬令し十九日午前十

赤系露人を壓迫

支那側が報復的に

動する聴眠の手は釜木帯筋となる 動ける聴眠の手は釜木帯筋となる

を 東天の三ヶ所に於て行ふごと人な 東天の三ヶ所に於て行ふごと人な を を を であるが本年は本職及大浦 を を であるが本年は本職及大浦 を であるが本年は本職及大浦 を であるが本年は本職及大浦 を であるが本年は本職及大浦 であるが本年は本職及大浦 英米宣教師來滿

佐者と交替するほめ夫々佐地に向 が一行は懲闘、無職に脱在する前 が一行は懲闘、無職に脱在する前 岩

る事になったが、其の 升來出に軽手が一レカスイラの上最 大連市三河町十八 いさ下べらくおき品他度ー



日変の共務共繁を総ずべく、日本 酸給家などいふものは、腕分、

長猿族などに比較して

といふことになる。ゴリラ族、手るなく、総局、同種ならざるなし

水到つて渠成る

曜

開話

は無にあらず。

むしろ窓である。窓

功を急げば淵に墜ちん

貴妃の時代。天馬、秋宮を開ける

を添るもまた難し。 功をあせり、 を添るもまた難し。 功をあせり、 心を追ぶて山を見ずんば、危險このとなし。そこに手加減あり、 老院 といふて、 から、 といるでは、 いんでは、 いんでは、

て必要以上に萎縮してる、大いに抗服する事は大いに抗服する事は大いに抗服する。

飛機なく。無人知是弱技不ら、無人知是弱技

も若く、生一本なり。

關東廳でも愈よ

教師「なぜノー

輸出補償を實施

豫算廿三萬圓を計上

天氣豫報

は飛行機で空遊といふところ。場 にれを以て難似馬遮、江南より洛 これを以て難似馬遮、江南より洛 これを以て難似馬遮、江南より洛 で空遊といふところ。場世なら

を添るもまた難しの功をあせり

るをは、やつばち手続と申手続を長く収候で費の後へ

しまては

B被もあり、「解単人もあれば、トな人種的に區分すれば、いろいれを人種的に區分すれば、いろいれを人種的に

つける。同じ演民族だった。ことがある。同じ演民族だった。こ

何の偏にもせよ。一トたび個人才大地流の影響が飼かで、「数上人大地流の影響が関かで、数上人

全く異る。龍眼と茘枝とは

然るに今は如何の歌歌のバナナ 然るに今は如何の歌歌のバナナ

雨降つて長江灘ろったよ事の成るとは、事を信すと、事の成るとは、

か為に来。成川は、

豫集に終て二十三萬國を能上要求 補償職後を養施すべく既に五年度

とて果して本名学家の附上を見る

政府が航政衛で直しのため自ら緊

で国た官人電あり、比實際よりせ

局に於いては何等之に囚はれる一 上側に立案するであららが法制 担側に立案するであららが法制

其他につき重要協議を進めた

国東滅都変を披露した所大に共鳴、 を塗内相よりも宮崎支部大会にで 安塗内相よりも宮崎支部大会にで り、

級局長官、鈴木書記官長を 変繁を要慮して十九日午後 変素を要慮して十九日午後

央並びに大都市では関係者多くである、民政震地方支部では職島東東市電ニ十日登」官吏滅衛は一般の観を垂れた誠意につき機関し

糖漢學に無影響と民政樂観

撤囘問題も考慮

滅俸案作成と同時に

男科 岩保 察察





八見、南部兩選手新記錄を出す

日獨支競技第一

H

八緯と云ふだしい安備を示してゐるがこれが本年の終りであ十九日朝來の北風で午後から一寸市場に現はれた爲め一身七十九日朝來の北風で午後から一寸市場に現名残を見せてゐるが

の安値 きのふ旅順

れ車の動きも自由でない程大

今日の競

旅順の支那街遊廓で

嫉妬から無理心中

飛躍人の現狀調査方をニューヨーク、インフオーメーションピウ支那谷地に飲在する白彩電人のために大規模な敷透常製を糊て白き変形谷地に飲在する白彩電人のために大規模な敷透常製を糊て白き

米國財團と慈善團が

ロウを経て各関係筋に依頼して來た

日本刀を振ひ

去つた妻の未練から

山口縣下柳井町の惨劇

個力製肉外が順方に搬走してある 前分院養松山星三氏等が他に入り 前分院養松山星三氏等が他に入り

人を殺傷

酌婦を出及庖丁で滅多斬り

相手の船員も絶命

かも日曜日に恵まれて北陸運動場

大狼狽し 最近陽東縣に向けこれが善後策につき院情し来た

百十米高障碍

ツアを始めた。

競技は弾

州五分変れて

一般ストルッへ五一

連搬船の船着場を失ふので

能積み に して金州、順水

学から 関連に二十五萬石といふ量に上一批に無償で続下げると云つた四方 別現在では西灘町東寺党隣の帰る。 配の出き口があるので目下の腐比 大連市民が採出する一ケ年間の裁。で旅順に運び或は北側すの乾穀館 爾東廳ご對策を講究



大田場『宮貫はモレス選手』 一司(満州)(四六米六九) 一司(満州)(四六米六九) で那の四名は三一川、住吉の記録は四回目であつた、構造はモレスー四回目であつた、構造はモレスー 糞尿の處分に 市が大悩み



は離れに躍り變せられ女が訪れねったところ女は獣に先客があり三浦・たところ女は獣に先客があり三浦・ 同家指へ動幅滑こと高島テル子へ

った。加部者は威島縣豊田郡沿田 て二十日午前九 降頂無理 心中が を明文那領西町街座敷一力方に於

は け続け様に続き斬りにし其場に取 られぬ機器な状態を呈して居れ が現るし節ドから漕を呼び付け出 からは古川戦部神が出張被形が 支那町に出で出致を買ひ求めて再 を突立て二十分後死亡した旅が 支那町に出で出致を買ひ求めて再 を突立て二十分後死亡した旅が 東西町に出て出致を買ひ求めて再 を突立て二十分後死亡した旅 盛大な落成親ひ

大興肥気武道場際成につき二十日大連商業歴校では飛て新製中の御

は医療の如く廿日正午より大連満洲ラグビー選手駅州内登選大

ラ式州内豫

育成快勝

本でしの翻覧にも関かつけ更に我 ・ 関かとしめ更に近所の職本階一方 ・ に 職込み間人にも頭がりつけ更に我 ・ の形をしめ更に近所の職本階一方 ・ に 職込み間人にも頭が多一刀を浴びせ ・ のでは、 ・ 力能に開本方で取押へた原因は表

電のメンバー左の類し ・ 大野等にて育成の解判に関した解 ・ 大野等にて育成の解判に関した解 ・ 大野等にて育成の解判に関した解

半額提供

+

お早

10

七

割

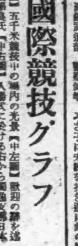
引

割

より

競技グラ

けふ大商の道場開き 午前九時半から紅葉町同意 一方校庭では三



し出賣大めたの理整

投一等のヒルシュフエルトの光景《中左編》歌迎の跡を述 横領犯人押送

其他一

切

大

中央福學協會

十日迄第と資籍 御費上の方に無

・プララー

時計及貴金屬

最

総に関係になった山脈消及他伊町の公衆側所は大連市役所及大連配の公衆側所は大連市役所及大連配の水場の調査により協議することは り存置することより事態であることは り存置することより手入れ中であ 公衆便所存置

神明高女生

分院移轉

問題となる

大社教のであると

「天瀬光無電サ日酸」大連晩明高 で元繁で廿日午前十時天瀬に上陸 で元繁で廿日午前十時天瀬に上陸

大漢神北郷内の大社教湯州分院は たので今回の大海繁を継續に市役 たので今回の大海繁を継續に市役 たので今回の大海繁を継續に市役 たので今回の大海繁を継續に市役 たので今回の大海繁を継續に市役 たので今回の大海繁を継續に市役 にあるが、同か院はいつかな之に であるが、同か院はいつかな之に であるが、同か院はいつかな之に

貴金屬際 有望の事業! 大村洋行へ

でも御利用下さい がメシューリストピューロー 大連条内所

◇中央大學闘響◇翳の最高権 普遍文官機講義 央大學 闘 酸◆ い の 最 高 権 威・ 合格 多 敷!! |初回の賣出し丈けでは整理付き 差上ます 福引券も 賣 終 0 出 東京日本描画岩代町一門 東京日本描画岩代町一 # 4 前囘より 層安値に H より 月 陳列振り \$ 御覽下さ 德 いをの 十一西川の綿と布具 会質博の管束る二 製一日より十一月

办 五〇七四話電日丁

冬來るい先が防寒の御用意はい ショール

オーバー毛皮裏、防寒帽子 アストラカン 其他在品豐富

離置 **P** 通

をはれ 時事就会した **三海灘で** 汽船漂流

貨物間の動設で使者は交換立工事と特殊が近く前者は地立工事及務保

日下総領を開究中である

の差割に用ひ除来解者共に

うづらの

秋の族職今日此頭の観夕は

はな物は

お名残

るので普通家庭の食膳には

を見せず館か料理店の

出版大連へ向ふ途中同日午後十一 出版大連へ向ふ途中同日午後十一 船くらいど丸(五四四〇順)は十 船とりいど丸(五四四〇順)は十 大連へ航行中

日系露人の 救濟を計畫 三十三度五十二分五十、東

大力の今朝四時現場へ無抗しつ」も

「毎時二種の連力で震流しつ」も

「毎時二種の連力で震流しつ」も

大は今朝五時現場へ無抗しつ」も

ド九の今朝四時現場へ無抗してらい

ド九の今朝四時理に大たので救助船滞須 が営地支店に来たので救助船滞須 が営地支店に来たので救助船滞須 大は今朝五時現場へ無抗しくらい 度廿五分で南風が吹いてゐると

大仙年市に ナフトール更紗 大中一尺 十銭均一 大中一尺 十銭均一 満壽屋モ ロー日ヨリ

連鎖商店へ E いのため まて 日マテ

商

ワ

商會特選

大廣場のレコード

競技會

ムランニング〇一〇〇米ン

井上椰子(一五、五)五男江六男(元本一正(一四、八)

次の人々が本年のレコードホルド ド競技會を開いたが新記録機出し 時十分から同校の運動場でレコー

二女順田房子(一七、九

九 せいこ

名献よし(十六回)三男千束御の)四男藤平田・八十七回)四女師子、寺州常子八七回)四女師の子(八八回)四女師の子(八八四月)の女」の一十七回)四女の一十七回)四女の一十七回)の女」の一十十六男勢川節夫(一四回)、六七山村六男勢川節夫(一四回)、六七山村六男勢川節夫(一四回)、六七山村

(三二、〇) 五男河

四)一女松

大阪場小學校では十九日午前十一

事が、後等の張林中活に必要であると云ふ騒から許りでなく。 振る

は三億から六歳頃の幼児に最も喜のブランコである。椅子ブランコ

生活の回路である」とし、カーテ

椅子ブランコもある。

ハンモックは見方によれば一種

幼児用児童用の、政は木製成は金

ブラン

コにも色々の種類がある

際級のものもあるし、乳が見用の

立つて指ことの愉快を認めた。

愉快を満足せしめると云ふ事實に

は「ブランコの世に哲人が樹上

ス氏は狼の智性に見て扱ると云ふ

めると云ふ戦から、野まれるので

ばれる。

あると云ふ事を設見した。そ

子供等の遊戲に於て一本の吊棚は

A木製のもの。

ブルのお母さんと赤ちやん

對する注意

ブランコ枠に

大廣場小學校の

コード競技會

本充〇米 本充〇米 一五)四女名越よし(八、五五) 一五)四女名越よし(八、五五) 三男山崎陽(八、二五)四男石線瀬(八、 一五)四女名越よし(八、五五) 三男山崎陽(八、二五女) 三男山崎陽(八、二五女) 三男山崎陽(八、二五女) 一九五)二女三田照子(九、四) 九五)二女三田照子(九、四) 中村益子(九、四) 一九五)二女三田照子(九、四) 一九五)二女三田照子(九、四) 一九五)二女三田照子(九、四)

盛んに新記録が出る

レー研究の機械者ジョセフリー氏は、でかからないのであるが、アは、では、対していのであるが、ア

械である。 晋人がどうしてプラン

之れは対党遊戯の中心をなす器 優に正規のプランコと同様見重の

何よりの樂職と云はねばなりませでも

心ゆくまで遊びまはつても少しも 原中山に聞く様な空気銃の音もして中まをする者がないのです。 野 此端はいいねえ、すこしも恐く

のです。事實後等は本當に幸職さ ないもの。ほんたうに確らいな 比脳は彼等にとつては 機子を見てるた私も思はず心に前の色があふれてゐます。焼に此の つてやるのでした「どうぞ何時ま 順ひ乍ら飛んで行く態達、その皆 さら云つて手をつないで高らかに 「さうですよ。され思ひ切り唄ひ

兄童遊園と

Source of the second

そのプラン

+ + -

關京廳發育研究所主事

山本籌喜太



成は私窓の美國ですねえ」

んして小さいこゑですゝりないたし はりあげてなきたかつたが又がま いつた、ながしてかへる時にゑを その日のばんロシャ町にながしに

が、つめたくなつてよこたはつて ほこは一ばん毛色がきれいでした だった。ちょうど私はお母さんと した。私はぼこをだいておもひき りした。私たちがかへつてきた時 りなきたかつたが、がまんをした おふろにいつてあたのでかへつて このしまつなのでぴつく すはほんとうにあばれで つたの れかはるときは人間にうまれるや私はかみさまにぼとがこんどうま や町はとばのうたをうたはなくな それがあってからだいすきなろし あはれならんめいの犬であつた。 らつしやつた。 ほんとうにぼこは といつてかなしみをまぎらしてい おじさんもお母さんもうんめいだ にひろはれないやうにいのつた。 うにそしてぼこのしがいをにいや

ため)を混合する(排水のため)

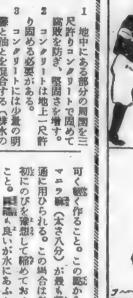
初にのびを強烈して宿り

レみがほんたうにお上手に描か れてかます。

はトタン張りとし附水の侵入はトタン張りとし附水の侵入はトタン張りとし、上面は、上面は、カーのでは、大変に丸木や可とし、上面は、カーのでは、カー

B金属性のもの● 未久的なものであるから、却て 未久的なものであるから、却て 大さいと云ふ様な事もないので 大きいと云ふ様な事もないので 表近の趨勢は金属製のパイプ式 を用ひてるる様である。

おし鎮を用ふとすれば、 名、暑熟な分級勁を有する、暑熟な分級勁を有する。



ると云ふ殿から現り 疑いから毎日時間外になつたら 金属性のもの即ち鏡は職より劣 取外すことの



の船。その遊か彼方に薄製をついの船。その遊か彼方に薄製をつい

あたりの景色は一窓におさめら

あるピルデングの屋上

樂園の

破壞者

(上)

既に大へんなことが起つたのです

兒童の作品

ところが或る日。

この言語な楽

來る線に」と

ハイニナリマシタ。」

ミツカラナイ

メラスへ

コノヤウニシテ

大チャ

1

ノタンケン

(123)

ル

=

世昌

廿四日

世五日

廿六日

廿七日

3

ラ

ゥ

×

カラ ノガレルコトガーデキ

てセンスイテイガ

ウオタヤウ

ヒトクヒドジンノ

近

話

美しい一幅の網の様です。

に自由な生活をして居る十数初

から全く恐れと云ふものを知ら

來ないのでせらか」

よそに居ると中ごし

「ねえ如何して此處には悪い人が

ある夜ぼこの一大事がおこつた。

名である。

くなっています。それはまるで

り、文御友迷とふざけるものもあ

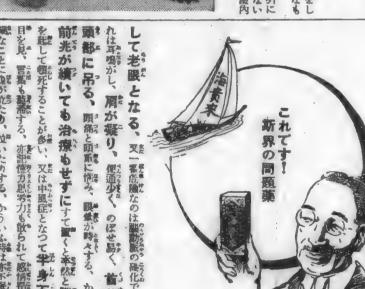
髪上の通りを愉快に飛鵐つて寂れ 歯れ立つて遊びに行くのでした。

ほこといふ名は私がつけてやった

朝の食事が終ると皆んな斯らして

哀れな「ぼこ」

(可認物便郵便三集)



現れたら一時も早く治療と兼のを建じ大事に至らぬ内に身を保険しな風、健、質、血統の人に多く、かりぞめにも前肥症狀の一つでもな。また。 前光が続いても治療もせずにすて置くと平然と監盗血 たる名野を輝して居る。本症患者は心配無用、海黄來を一覧も早く眠恋的動脈硬化症及び之に作ふ臨者庭、中風の味がなら後難として療い。 日を見、言葉も動而する、亦能徳力思考力も取られて感情事業 を起して領死することが多い、又は中風症となつて半身不随の存 用して健康と元気の復活を開らんことを を基礎とせる情景変だけあつて、その治病作用は最も迅速で最も安全 個草精期施貴來は、然石に佛國のピンパジョー博士の競見せる主成分 はない。 また ちょうかん はな さんかん なことに腹が立たり、泣いたりする、かういふ時は亦不眠症を起し 頭部に吊る、頭痛と頭頭に悩み、眼動が時々する、かやうな れは耳鳴がし、層が凝り、便通少く、のぼせ易く、被筋から して老眠となる。又一名危険なのは脳動脈の硬化である。こ 樊煌家、糖尿病者、 れ等の症状は主さして平素酒をのむ人、古き梅毒ある 便近くなる、情感や精力も渡へて事業も蹉跌し、 しかも衰弱いかに著るしくとも決して忌むべき間作用なく、質に選 房事過度の人、 も亦及はざる結果 心身疲勞の人、 慢性腎臓病者、 なる。 現今病者の問題となれる特殊 肥えた人、中 ろくなことがない

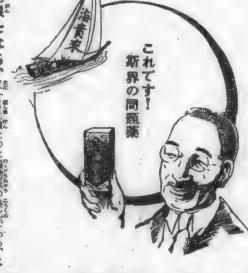
海貴來總發賣元

△投珠(スポンデボール)原位メ

子公三、三七)三女池田壽美子女台田縣 三、二〇)四女三田

(三、五一)三男ヶ屋

にあふと が変たり、しびれたりする、亦服の水晶體が硬化し、五様六腑が弱り、歩行疲勞、どうき、息切れをし、五株六腑が弱り、歩行疲勞、どうき、息切れをして手足に水腫の水晶となる。然底に解ると第二に触液循環が悪くなり、血路百 今日の不景氣を招來してゐる。この歌なるな歌は放 漫 に流れた 財界は濫費放逸の結果として が、人性の動脈硬化は聞くも恐しき脳盗血、中風の原して財界の動脈硬化は結果として破産瀕出、不景氣に止る とりも直さず 財界の動脈硬化 經濟組織の膨脹硬化でなくて何であらう。 性慾、 脳動脈の硬變 諸臓器の萎縮退化 精力の衰退



行 行 行 「大阪の快復の其の他」 工橋保健治療院 大連市所公園町百五十三番地 てウマ ソースの名前はさておいて トリスの味の味のみは誰と イウマイとおえやる 新炭門屋 **共進**

特許ラデウム温灸治療器(並ぶ) 収責と治療 (書を御送り致します)

其他見切品・投げ物澤山一 ▼毎日午前八時年開店▲ 三圓三十銭より

特別奉仕品

・掘出物の山

・御早いが

なりについて行くと目の先に女のな人の有職さを知つたことはねエ

までもなく、双すました得かったことを物語ってあた。そし、数別のにいいまである。 首尾のまたいとを物語ってるた。そしたを物語ってるた。そした。 といる接続で、

が、太吉に極り起されだのは、 が、太吉に極り起されだのは、 が、太吉に極り起されだのは、

それから半時もたらぬらちだった。 いっつけつの観兵者の、職職子のや

二号天祐 十五銭

宫內省御用選 香华总都具

=

六六锋

廿五錢

平安

(鳩印)

五十錢、

間にかあつし一人になったんで…

判らねエ

われくくは大金をかけて酸々を格より一流の輸売を招んだのであるから実験質な難りを見せて果れるものと嫌悩してゐたが行つて見て大なる失戦を感じた(ウノー・デン)

面图

RR

てゐはしまい

少時

既るぞの総兵権が幾つて来

はどうだつたし

「ちゃ、また何かあつたんでござ

御常用トッテ定評アル

A A MARIA

「うかっまあとにかく誰でからに

「おう、さうだらう。で、女の方

でなしかつた「見り鑑」の二場にて欲しかつた「見り鑑」の二場にて欲しかつた「見り鑑」の二場に「悪合船」を選に行き才三、萬量の震調を明の表心と関係にそらせ「四季の哉」で驚黙と戦と職りをアメヘザに中り、秋の歌気に暮のを難せ、冬の歌気に夏の衣袋と着せ、冬の歌気に夏の衣袋と着せる等は繰りに歌術を間接し

御保護遊ばせ!

Ł

けを完全に防

下に最適の

肌を

病

糕

(145

八劍

龍金十卷

飲ます

髑髏の革袋(九) 平

「ちむ―」」 「さる取へ、裏門から吸ひこまれるやりに入つたんだが、それがあなた標別當のお邸だ」 「さうなんで

すぐ叩き起し

たと触い微笑が泛ぶと、

大吉は庭へ飛び下りて折点を開 大吉は庭へ飛び下りて折点を開 思ってそのまぁにして聞って來ま がやなく、邸内の女らしい様子な がやなく、邸内の女らしい様子な 「それでよい。それでよい。向ふ

「大林も、てつきり扱いておいで 森なんぞへ行つて、そこへ野武士「大林も、てつきり扱いておいで 森なんぞへ行つて、そこへ野武士ける。 別は様の取内の安房が忍んで残のける。 は関んないまし」 へ舞さないでよかつたのだ」 「やあ、お聞んないまし」 へ舞さないでよかつたのだ」 あるのは何だらうの

温習會評印

西川流の出し物は何れを硬でも小地にかりで繰り事美ではなかつたが、廉酔流の出し物に比較し衣裳がとれてるた。 これは機能に西岸流のみを仕込まれて出流窓鼓送も呼く窓を行み込んであた結果で、極めてあたり前な 十八日は大公開

事であるが

翘鄉

ものばかりで悪美に行からとした 美庸に失敗を描いた歌である。尤 も藤間流の庫の学も知らなかった を藤間流の庫の学も知らなかった が來て、配も短日の間にアレ其け が來て、配も短日の間にアレ其け が水で、配も短日の間にアレ其け が水で、配も短日の間にアレ其け

速館 大公開 父ねらの名

液

●剧代時作特留督監保富田池●

コニ人の武士がのろくくとして入ったのが、お大獣、繋いちやいけれエ弾海入道標の御殿だ」

試薬にて れ、試楽と

、判然百聞一見に不如

版集と同様の気息を有するとは、大学の場合のでは、大学の表情を表現である。

治療法の完成

間でない前者は

スモカで属すべ

四日

より

化畵映。作原風李友行 浦·夫正河·油助别特子光犀高 催孔月若·子絹水若·子腾須披

痛經神スチマウリ膜腹クマクロ肺

正劍風に躍るか大乘院 世一日公開

監亨芳村耳。子響波第。二九十林 上言古**祐田岩** 子蝶上版。治映本柳 演古**祐田岩**

月形半

八祖、湘波須磨子、光子、若水 絹子、北水 長二郎丰演

日公開

町に當るかも加れない

の雄大なる超特作品年來の懸案弦になる構想

能 迎上 · 引下 効能で賣れる DigVを伊藤長兵衛

特約店大連 高津表門

知ら

ね

は

紳士の

恥!服

ーま 生ぬ

のは 損

電話六四一〇番 三根 眼科醫

女生活の改善は先づ服装から▲ 李生活の改善は先づ服装から▲ △御一報次第26上 (井震一切御斷り申ます) (サ無けぬ仕立) (ヤ 3

秋山商會洋服部

るく

元氣。

を愛用致しませう

三十二圓均 軍手現金卸



のみのコバタ 悠長とは不精の

るの夫れである は夫れを爲さい 烟威であり後者 きを爲しての喫



姊奶品



害马 É

略目錄

〇初 三千回 二 五

抽籤·明年

税金は

額面金額二十

回の

债

2

全額二十圓

らない

0節約手段に先づ一枚 0本日より賣出 ▲最寄の銀行郵便局にて ▲賣切れぬ内に御求めをし ▲樂しみある貯蓄法 ▲十八年間に全部償還 以後每年二回抽签 五〇〇本 一、九七五本

●新債券が安全第一

割増 O賣出價格は半額 金 0 十圓 円 R付

滅俸案撤回を勸告 十九日首相を訪問して

極力切拔策を 講ずる積り ◇渡邊法相語る

鐵道省

(東京十九日景電) 横道省の減停 大きやう なきやう なきから でに配謝中の江木横相に繋し幌樹内 がする。そ 容更の独を選一総告した。

本・一方に超って減嫌と相談。 「一方に超って減嫌反對 「一方に超って減少。 「一方に超って減少。 「一方に超って減少。 「一方に超って減少。 「一方に超って減少。 「一方に超って減少。 「一方に超ってあるが、はしる。 「一方に超ってあるが、は、一方にある。」 「一方に超ってある。」 「一方に超ってある。」 「一方に超ってある。」 「一方にある。」 「一方にある。 「一方に

安協案には

切應ぜず

對氣勢内の反

機先を制して

武力的解決

蔣氏の對馮系作戰

後し解棄の職根を断たんと

山東の形勢

労農は東北政權と

単獨交渉を希望

反蔣運動の擡頭を好機ごして

支那側も讓步的態度

刻《惡化

中東京地方裁判所被事局を 判事 国上 中の機事職の意め小原文官は十 判事 国上 中の

日東京地方総対の一部では、大力 「東京地方という。 「東京地方総対 「東京地方総対 「東京地方総対 「東京地方総対 「東京地方総対 「東京地方総対 「東京地方総対 「東京地方総対 「東京地方という。 「東京地方総対 「東京地方という。 「東京地方総対 「東京地方という。 「東京地方とのでは、 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方と、 「東京地方という。 「東京地方と、 「東京地方と、 「東京地方という。 「東京地方という。 「東京地方と、 「東京市、 「東京

司法省の

局課長會議

で大大工廠で、正しく 本代 は其有和なる中層に終て かかきである。

「正しく 本代 は其有和なる中層に終て

「正しく 本代

「正した

」にはて

「正した

「正した

「正した

」にはて

「正した

「正した

「正した

」にはて

「こした

「正した

」にはて

「こした

」にはて

「 にした

」にはて

「 にした

有つものである、整し彼は所識が共通的に有つものである、整し彼は所識を開始が共通的に有つ実際―反革命取職が共通的に有つ実際―反革命取職が共通的に有つ実際―反革命取職が共通的に有つ実際―反革命取職が共通的に有って、変し彼は所識が

支那革命の正流 反蔣風潮と

御中で山東の影響は赤へ観景化の景の蘇聯年取ら日下戦闘闘かの

る成あつたが、間はは其態度を**耐**り動見要時間時職策につき**表示**す

哈市麥粉禁輸

和不關係者たるべき事を説明した職に表示する事を避け、ただ自ら

最初五名であつたがい

間氏、態度を

明示せず

のみであつた

南方代表に對し

南下陸夢熊氏一行

一般が今日の如く内肌に因る を来されば大部分は東鎌に動 であつたが、近く南下 野野であつたが、近く南下 野野であったが、近く南下

豫備交渉を行ふ 五ケ國會議に先立ちて

明した。右はロンドン會議開催に せらると模様である リー大使館競は本日イタリー首相 んとするもので、ブリアン氏を訪 した冒回答し近く途間が りょう 自相の申述の フソリーニ 首相の申述の した冒回答し近く途間が した冒回答し近く途間が した冒回答し近く途間が した冒回答し近く途間が した冒回答し近く途間が した冒回答し近く途間が した 日本 は の本

日園伽山氏と午前午後の二回に直【ハル ピン特電十九日配】帳道部【太原十九日設置】方木仁氏は木 「上下」

産業保護の 答申案を可決

地方部支出は

国、差別約百八十萬國の利益とな 高國となり歐線經費九百九十七萬 高國となり歐線經費九百九十七萬 高國となり歐線經費九百九十七萬

事務を處理

委員會で

^{職明}年度經費豫算

減俸問題につき會見同三時聯去 は本日午後三時酸ロ首相を訪問し 「東京十九日製電」似石褥郷總裁

首相ご會談

展達したるものあるべく。 配子の答明家を可快し總倉に附置 での答明家を可快し總倉に附置 での答明家を可快し總倉に附置 での答明家を可快し總倉に附置 での答明家を可快し總倉に附置 東京十九日援電 | 開び新聞會特別政策に言言既に開會計上委員長以下全部開心、金融級に書って採るべきで、金幣級に書って採るべきが、金幣級に書って採るべきが、金幣級に書って採るべきが、金幣級に書きが、金幣級に書きが、金幣級に書きが、金幣の結果で使三

激戦十餘時間の後

「東京十九日發電」松田招相は十九日正午官邸に渡口標理を説問した日正午官邸に渡口標理を説問した日正午官邸に渡口標理を説問した。

首相に協議

支出の部

討蔣軍鄭州に入城

百九十萬圓增加

前年度に較べて

を除く)でその内職は を除く)でその内職は を除く)でその内職は を除く)でその内職は を除く)でその内職は

は一文も無かつた

マノの家宅捜査の総製網準其他一 ソノの家宅捜査の総製網準其他一 出午後四時間掛け行政網がら布告 された、メリバンク保管単極に基 された、メリバンク保管単極に基 された、メリバンク保管単極に基 された、メリバンク保管単極に基 された、メリバンク保管単極に基 された、メリバンク保管単極に基 された、メリバンク保管単極に基 された、メリバンク保管単極に基 で会践館を継続し一號の

日午前十時代より影響され正午終。 百八十萬圓の

大體各箇所の

要求通りに通過

「京城図」は川取引所継令部で、「京城図」は川取引所機会は 来る二十一日午後三時より同乱機 来る二十一日午後三時より同乱機 来る二十一最近十五百四十二百六十 機管期税益金▲金四千三百六十 機管期税益金▲金四千三百六十 機管期税益金▲金四千三百六十 機合七千四別金積立金◆金十百四分 五千四株主配書金(年一別四分) 金十二百四五十七銭後期録 金十五百四五十七銭後期録 【東京十九日發電】 矢田七太郎 矢田七太郎

本海喜太氏 (全體育研究所主本海喜太氏 (全體育研究所主を放射のため十九日華天へ とないため十九日華天へ とないたが一九日華天へ 几日夜行列車で来。連条者一行磯口唯八氏

本語の日本人頭目、支那人職工に動し、 合戦論で窓

一般の主張たる 東鉄管理局

路支兩國の捕虜

交換斡旋を依賴

ドイツが米赤十字に

るが 製剤な方法なりと思惟して



更に七

一大阪府中河内郡秋岡上役行者開差。其音宗出のでかれ様に限らず遠直なく御申込下さいた雑ににでも人助けの為無料

面もオゾン吸入による他内自血球(他内へ便 入したる病原菌を殺すもの)の増加は時代 合政 オゾン 高

詳和カタログ進星

でも本器を御利用になれば樂に禁煙が出来て 本器御携帶は貴下の人 お意思の疑い

有害無益な煙草を止められ

格を高めます

保健と節を 最新式 貨幣數置式



平軍飛機出動

同日午後皇太后麾下の御酔に伺候御説ひを言上された問御全快の御説ひを言上種を御うちとけたる御物語りも

三等永谷縣一、四等江鑾龍(四分十九秒)三等津田晴一郎、

處女航窓路の

開拓と大洋突破の新記録を作るべ

(上)場内の類案(下)正門前の雑聞(圏内)場内の支那軍樂隊

の水風との天氣涌報あり途中の戦の大飛行は二十日朝決行された、

局長地会隊本機の前に整列

弔慰見舞金

奉天日獨支競技畵報

昌め母堂みえナ宋亡人と共に十九日高輪御殿に殿下を継跡れつ」あるが、標川喜久子駆は殿下の御全快御よろこびの

既を御嶽院遊ばされ高輪御殿に於て続後の御獸鬢を遊ばさ、「東京世日被咒」高林宮殿下には既稷の如く十八日帝大病

德川喜久子姬參殿

御全快のお喜び

高 松 宮 殿

百米突リレ 支競技 約る

慢勝各選手に 第二日午後の成績

段誌は滿州のみ)滿洲二名、

発表がラウンドの

前になってラインを引き直すーけが充分でなく支那機は試合

量灣訪問飛行

加途に上る

秋雨煙る中を太刀洗へ

りふ愈る大洋突破

オール、後半に五トライ、四十二十八、 本質、西山麻氏の下で開始な人族を監査し前半に二トライ

ルを得て三十一野常にて工大大勝 財軍のメンバー左の如し 工态玩 SO大編

野北內木黑北酒縣裡有級石岡大 俱 田野內島職澤山島中田見村田田野內島職澤山島中田見村田太永小宮田太永小宮田

大阪本店は 大阪市東區備後町三丁目二十大連出張所は 大連市山縣通一四七番地尚從來の事務所は狹隘を感じ候爲め今囘

大連市山縣通一四七番地

| 韓富土洋紙店|| 出張所

々移轉仕候間此段併せ御承引願上候

くご推薦

野田巡査へ贈品

四举拾四銭

廣島市内に

飛行機墜落

E 13

士の御證明が御座います

何でも手軽に洗へ

ます丸大液

の行洋華浪

堂光東根山 元 達 竪

各學校

新 54 東 東

和 并各 族 祖 合 病 院

中願出許特

液大丸

一维约三令人

蒙御用命

種類、真 鈴及 銅が アルミニューム類 サイフ、フォーク類

大連市豊岐町三ノ五七 第三九10

供婦人服地全部

南米の大地震 ラテス -月廿一日八月明日)

記した。 電影会解、大き五分よりパムパ、ユニオンに大地震あり死者一名負傷 者養名を出した倒潰派最多數に上 り殊に消骸加里ヒンウ工場の機器 日午前十一時 日午前十一時 日午後〇時三十分 日午後〇時三十分 日本後〇時三十分 日本後〇時三十分 日本後〇時三十分 日本後〇時三十分 日本後(一時三十分 日本後(一時三十分 日本後(一年) 一、ニュース 日本後七時(電燈五十年記念祭夕) 一、ニュース 日本後七時(電燈五十年記念祭夕) 一、ニュース 音樂院院生徒有志・作奏村岡県歌・電氣禮蹟の歌・大連の

包裝展賑ふ

活動寫真を映寫して指

昨日から青年

拡大である

訪米露機オ

クランド到着

北等は高質を以て現はし新薬の酸という。

して 南岸工業専門参校長小山霧話 電燈五十年記念祭に際条章。

カフ

エー

道頓

近

H

中

出

現

ボ選手優勝

本統十字社大通支部は之が交付方して人形一個を設附し来たので日

招称なしにはワシントンには気行

一階が墜落

米では北木は鑑にものす ル、シャーア選手を 大會に前年 トラ選手を破り再び

前週ニュロ左手がト

東連したが最近の海豚界に就いて 整次二十月入港のばいかる丸にて 整次二十月入港のばいかる丸にて

酒暖界

不景氣な

つたのは五千米

個に網絡屯少年赤十字階 柳樹屯少年團へ

七百米頃永谷、津田、ボッへ 順で一関となつて消んだが、 のストレートコースでボラへ 別にピッテをあげて七米の美 り二、三품二米の差 [寫頁 #

た▲旅戦中學校の最上少年が記

府设場 4878 6807 本 店 4341 沙河口 9318

内地の不量氣は全く浸刻どたり 選に本年度は内地に於ける我々 関葉者一同一野の滅造を決調し も緊縮々々ですが私共は斯くし なければ本年末には必ず破疾者 が検出するのです

換物送附のところ今回その問 然元氣で

服に身を励めた支那少年少女際できい感じがしたが、カーを色の際です。

込んでるたのはまつたく

しかかたというでは、 進大 八の境を行く如し 五ゴールを得て をになり高山大連戦勢戦長より係 とになり高山大連戦勢戦長より係

見電デー第一日目は十九日午後二 時代より部和會成に於て開催され 大、土曜日といふので置過ぎより 様々各方成より子供等が襲つて來 て二時には既に場内一ばい濫れ る騒ぎ、二時伴廣木批會部員の骸 な用會の跡に大ぎ、紅葉の様な 手でうたれる数の様な形手に迎え りたれる数の様な形手に迎え がまま子氏が「玉子と乙食」

られ水谷まさ子氏が『玉子と乞食の子」といふ興味書きない賞話をり、大いで青い鳥子供の食。大連り、大いで青い鳥子供の食。大連さるさん等數種及び教育映画を見さるさん等數種及び教育映画を見まる。 非常な盛況

0 ルーン級封いに美

高級

北文房具店であり

すまりあてし付う添

産兒制限

大連市山縣通り貳百番地

盤山田洋紙店

出張所

見童デー

協和會館の

組

【松代十日發電】長野縣伽科配松 十八日午被山町野登助食堂の二階で 十八日午被七時三十分突暗溶消中 十六名が溜脇の最中二階座敷七路 はかり態源し十三名重艦艇を負っ た内四名は重應である 十三名重輕傷

渍

界各 東京風菓子謹製 10 漕

米個製スープいろく 食 料 逋 000

着荷新 0 名 地 L1 #3 名 産 物 6

を表する。 ・生存機等の強しい今の世の中は安全確實な要変を持つことを確認を正す常所は現今最も有利の敬様変として擬談されてるる。 ・一般情報を通信教授により健かの要用と短期間にて自宅調査をして ・位置地数長により消費の変換機を以て難談されてるる。 ・他の長虹階級、無機筋、の変換機を以て難談されてるる。 ・他の長虹階級、無人類、移疾、終編、との登壁を ・他の長虹階級を ・一般情報を ・一般情報を ・一般情報を ・一般情報を ・一般情報を ・一般情報を ・一般情報を ・一般情報の ・一般情報を ・一般時報を ・一般時報を ・一般情報を ・一般情報

者 0 音

南滿洲電氣株式會社

引立を願ひます 中エ子、サカエ、キョ子、ケイ子、 引立を願ひます

0)

ヨ子、ケイ子、トキ子

は 二十日夜上り二十一日にかけて数 ・ 教育階の電腦を行びれる、右部熟盤が振いたのは明治四十一年十一月十七日で雷時は其数も實 になられたのは明治四十一年十一月十七日で雷時は其数も實 に変れたるものであつたが現在は

附屬地内で脅迫

人が

を競しなは認起人州名を除き第一者に十九日送郷一同構込みの通知 御開館と同時に加入申込の有資格

よろしくお願ひいたします……そちの解ける日まで、それでは何卒

不與少年

る。何處かに生きてゐるや

んな事情では、もう小森商事の方

へ動めるわけにもま

この上は御漢切なあなたに

貸出開始

金融組合で

獨立軍費ミ稱し强請

電燈數は州外一

盛んな電氣記念祭執行

十四個で各個元別に示すと次の如

要って全五十五副を歌ひ南方に向 を選撃し更に隣家の契約協店を が購入し店主を制度して開金十五 が購入し店主を制度して開金十五 が購入し店主を制度して開金十五 ので全五十五副を歌びして開金十五

いのがやから、どうなりともあん

たく云ひ披ったきりであ

なんだ!おべさんじ

一ケ所に强盗

安徽の長は、黒田の説明に献祀 おも見しがちた実知子の母継 だが、常数なまで確かに見る だが、常数なまで確かに見る

、 鳥田の競場に 成数なまで 職なまで 職なまで 職なまで 職なまで 職なまで 職なまで 職なまで 職なまで 職な に見える に見える

居住鮮人の狀態を調査し

拳銃密輸

交那軍副官が

支人の不法

水道電氣會社の

五百團のもの及び十月七日五百團のもの及び十月七日五百團のもの及び十月七日五百米。

(株) 大田学前二時境製油工場機 大田学前二時境製油工場機 大田学前二時境製油工場機 大田学前二時境製油工場機

電燈記念祝賀會

廿一日營口座で開催

日

加勢者重傷す

が七十銭だ▲あのほろ家で和学費がと十銭だ▲あのほろ家で和学費で入場験を許可譲渡につからる等もなし足跡につけ込まれちや市民がやりきれぬ▲ やはり二館にかぎるテ、それとも

城三格闘

新入會者等級査定の件原案可になり原案可決す

に提出すること

配員は旅行覧問題につき

館及び大連海關、

狩獵中誤殺された父親の

仇討

件が加害者を撲殺

日本商議總會に

型帯 十九日安率線急行に 単務課長 阿上

質情を報告のため近

十九日安郷線急行に

一語工會議所定期總督 中間題並に不常課税間 中間題並に不常課税間 で開催しの件

會議所議員會で決定

で放行軍問題につき打合 に放行軍問題につき打合 で放行軍問題につき打合 二十日撫順往復詞夜長丞道聯合團十九名一十 () 未國難点 儲實體記 一十一日 國連

戦闘二戦時僧百六十関を強誘訴を 業務を養婦左後戦部より石耳下に 貴通鉄部を負はせ端を助先せしめ た賊は関車を路信の構材に放棄し た賊は関車を路信の構材に放棄し

可樂物を閉動すべく目下之れが鍛れ行因に當地の輸入組合は近く認 財務課長瀬田氏は鰡入職会が合の 財務課長 來公

陵雜信

計六萬八千八百位 十ワット 六千五百五 十ワット 六千五百五 賊二名を逮

十月五日午後六時三十分種の新川衛に南ずる架が電池大山坑で大大田中後九時頭大山坑である。 市の施設を接続。 東山門野組合の機械を乗り をを接続。 東山門野組合の機械を乗り をを接続。 東山門野組合の機械を乗り をを接続。 東山門野組合の機械を乗り

祖五五十八の一人で

滿日 古月回 先相先先番 治 六 元 二 六 元

防火宣傳に

公

主

嶺

消防演習

馬を盗む

十十世 加治屋委員送別會
加治屋委員送別會 第百して居た▲藍を閉てみれば何 *二百や三百の端で金かと驚いた 塔 白 りょだ ・ 会民に職を報む位に ・ 会民に職を報む位に 金融組合の貸出開始 第二 三三七 ために働いてるるといふ黒出の酸 苦やしげに眺めて 「……次の敵を乗せよ、といふ言 がある。ゴルゴサの首の壁に提 オニスは能をも悩み簡るやうなこ 要することの出来ねえ取に、敵ど であつた。 知つて質ひたいと思つてゐたのだ。 実知子を質めるより前に、我々は もつと大いたる公慎を、小森父子 によつて代表されてゐるブルジョ すればならないのだ。さら黒田は なりてのだが、影響影響の ために働いてゐるといふ黒田の館 黒田はよっぽど口に描してさら 郷り新のやう云つたきり

同や吾人は人物資産信用申分なし とう以ぼれて島た者で武出高の少とう以ぼれて島た者で武出高の少いに驚いた向もあらん然し之時八厘は高利 を除する向もあらん然し之等は借 と除する時へ輸出も参組を借ることのみに没頭をず費金の運転でが とのみに没頭をず費金の運転化に とのみに没頭をず費金の運転化に

死んだものと諦めてゐまし あづかりします。さら云ひ寝しており返してやらうかと思つたが。

と、よろこんだのは調金であったと、よろこんだのは調金であった。 難といふ、都形ながら無視に大概の二間、二階が

建の健家であった。黒田はそこ、 大屋の膨動といよ、粗米ながら、 地上が三髪に大盤の二間。二階 であった。黒田の住居は、四割長屋の端

話って説言を求めた。母親はよろ

ん。舞く世紀さんをあんたお歌







対は対し

投句家へ一言

らしい職ぎを眺めてゐるのだつた

生治 0 感

窓 (134)

黒田は逃げ題る郷公を追ひ廻し